

サーフ 90 茅ヶ崎ライフセービングクラブ設立趣意書

(社)サーフ 90 交流協会が平成 11 年 3 月 31 日をもって解散することが決定したため茅ヶ崎クラブも組織を改革する必要性が出てきました。

まず、第一に、意識の改革です。今まで、同じボランティアなのに一部の人達にクラブ運営の全てを任せてきました。その人たちだけに苦勞をかけ、他の人は出たい時だけ参加するといつても気ままな参加形態を採ってきました。それでは今後組織を運営していくことはできないと考えます。一人ひとりがクラブの運営・活動に積極的に参加するという意識をもってもらわなければなりません。

第二に、クラブの活動についてです。現在(旧茅ヶ崎クラブ)の会員数は約 50 人いますが、実際に現場に出て活動している人は約 3 分の 1 程度しかいません。また、ハガキや手紙などいろいろな方法で連絡をしているのに返事のない人もたくさんいます。それでは何の為にこのボランティアに参加しているのでしょうか。皆さんは海に来る利用者の安全を守ろうと参加してきたのだと思います。しかし参加者が 2~3 人しかいなくては、助けたくても何もできない、何かしたくても何もできないというのが現状です。新しい組織になったならばこの現状を打破するために会員を、月 2 回以上参加する一般メンバー、年 1 回以上参加するサポーター(SP)メンバー、クラブの活動には参加できないが資金面や物資面でクラブ運営に協力する賛助会員に分けてクラブを運営していきます。そして、自分で選んで入ったならばその約束を遵守してもらいます。これが守らなければクラブを運営していくことはできません。

第三に、運営資金についてです。今までは(社)サーフ 90 交流協会を受皿に神奈川県・茅ヶ崎市・藤沢市・鎌倉市等から運営資金が出ていましたが、解散の時に申し上げた通りの理由により支援金は大幅に減少してしまいます。そのためクラブを運営していくための資金が足りなくなるのは目に見えています。この現状を乗り越えるため、またこの組織・活動を維持していくためには、会員一人ひとりがまわりの人達に声をかけこの活動に賛同してくれるスポンサーを探すという気持ちをもって参加してもらわなければなりません。

以上のことをよく理解してもらい、新しいサーフ 90 茅ヶ崎ライフセービングクラブに参加してもらいたいと思います。

最後に、組織が新しく生まれ変わるとともに、会員一人ひとりの意識も心機一転してもらい、一緒に創っていきたいと思います。

1999 年 1 月 9 日

旧サーフ 90 ライフセービング茅ヶ崎クラブ